

事業所における自己評価結果

事業所名		アートチャイルドケアＳＥＤスクール枚方長尾				公表日	2026年 1月 31日
		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	2	部屋の大きさなど、グループワークになると狭さを感じる限られたスペースの中で、子どもの状況に応じて、別室や廊下を利用したり机の配置などを変えて対応している。個室、相談室、廊下などを利用したり、個々の活動に応じて交代しながら使用するようになっている。 活動内容や、同時に児の様子にあわせて臨機応変に各々が集中できる環境をつくるように心がけている。 同じ時間帯に複数人の利用があるとどうしても部屋の狭さを感じることがある。個室を利用したり、活動するタイミングをずらすなどの工夫をしている。	グループワークの時など、ポールプールを片付けたり、椅子をあけるなど、活動によってスペースの確保が出来るように調整していく。 今後も職員同士が連携しながら、個別の時間でも、一人ひとりの活動の場所の確保を充分なスペースで療育が出来るようにしていく。	
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	2			
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	8	0			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	8	0			
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	8	0			
業務改善	6	業務改善を進めるための PDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	8	0	外部からの評価についてはわからない。 定期的な会議や、視覚からわかりやすいように伝言板、スケジュール表など設置して共有を徹底できるようにしている。 活動のねらいなどに触れながら、どのようにかかわったかをわかりやすく振り返り時に他の指導員に伝えることで児の課題について共有できるので、意識して伝えていくようにしたい。	左記に同じ。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8	0			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	4	4			
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8	0			
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8	0	年間を通しての企画を考え、スクール全体で楽しめる環境を整えながら、個に応じて必要な工夫を取り込むようしている 職員が順番に担当するので、個別支援計画作成時だけではなく、常に記録を見ながら様子を把握できるようにしていかたい。	職員それぞれが、記録の確認をするだけでなく、会話する中でお子様の状況や今必要な支援が何なのか共有する時間を密にとるようにしていく。	
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	8	0			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8	0			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8	0			
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	2			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8	0			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	1			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8	0			
	19	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	8	0			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8	0			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8	0			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8	0			
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8	0			

関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8	0	<p>就学時の移行支援については積極的に取り組めていないが必要だと感じる。 保護者の意向と希望を聞き取り、必要に応じて園や他事業所を訪問して情報を共有し、子どもの生活に沿った療育となるようにしている。 園と連携の際に受け入れてもらえた場合には園に訪問にいき、連携をはかっているが、それ以外にかかわる機会がないので、行事を見に行かせてもらうことなどもできるといいな、と感じる 家族支援プログラムに対する知識や情報はまだまだ持ち合わせていないので、今後勉強していきたい。</p>	情報提供資料の作成や就学に向けて、保護者様に対して今のお子様の状況、配慮事項などを細かくお伝えしていくようとする。  地域の園への訪問については、保護者様の希望と園の受け入れ許可が必要になくるため、保護者様のご希望があった場合は、園の方へ訪問理由を丁寧に伝え、一緒にお子様のことを考えていきたいということを共有しながら園との関係づくりをしていくようとする。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	2		
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	8	0		
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	6	2		
	28	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	2		
	29	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもも活動する機会があるか。	1	7		
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	8	0		
	31	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7	1		
	32	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8	0		
保護者への説明等	33	児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8	0	<p>保護者会に卒園児の保護者を招いたことで充実した会になったように思う 利用者の状況や希望を把握し、卒園された保護者から体験談を聞かせてもらえる会を企画、実施した。 母が不安に思っていることや、悩んでいることを話しやすい環境づくりを心かけている。また、話を聞く側になれるよう、意識している。</p>	今後も、保護者会を開く中で、就学に向けての不安の緩和や、お子さまについての悩みを相談したり聞いたり、話したり出来る場になるようにしていきたい。
	34	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	8	0		
	35	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8	0		
	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	7	1		
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8	0		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	8	0		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8	0		
	40	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8	0		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	3		
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8	0	<p>定期的に研修を受けることで、自分自身の意識がかわっているようを感じる。ヒヤリハットは、もう少しこまめに記録していくと、見直し、配慮する点が浮かび上がってくるのではないか、とかかわってきてているようを感じる。ヒヤリハットはこまめに記録することで気を付ける点などが浮かび上がってくると思うので、もう少し意識して記録していくようにしたい</p>	ヒヤリハットについては、ミーティングの中で話し合う時間を作り、職員全体で危ないと感じた環境や、遊び、お子様の動きを共有し、ケガや事故につながらないようにしていく。
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8	0		
	44	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8	0		
	45	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8	0		
	46	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8	0		
	47	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8	0		
	48	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	6	2		